

◆授業設計のポイント◆

- ・ 根拠を明確にして文章の内容を的確に解釈させる指導の工夫。
- ・ 生徒の学習状況に応じた指導の工夫。

## 国語科学習指導案

学 級 2年4組 (男子19名 女子18名 計37名)  
場 所 2年2組教室 (2年校舎2階)  
授業者 教 諭 齋 藤 暢 貴

### 1 単 元 「走れメロス」を読み、感想を交流しよう

～登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てる～

### 2 単元について

本単元では、文学的な文章である「走れメロス」を読み、登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てた上で、感想を交流する学習を行う。本教材は、メロスが自分の身代わりとなった無二の親友セリヌンティウスを助けるために、幾多の試練を乗り越えて、王ディオニスの待つ城へ走る姿を描いた物語である。走りながら成長していくメロスの姿を通して、生徒一人一人が「友との信頼」や「信実」についての考えを深めることができる。そして登場人物の考え方を、言動などの根拠を明確にして読み取り、それに対して自分の知識や体験と関連付けて感想を述べ、交流することは、主体的に考え表現する力を育成するために意義があると考えられる。

本学級の生徒は、学習に意欲的に取り組み、与えられた課題に対して積極的に考えようとする姿が見られる。また、グループや全体で意見を交流させることで、考えを深めようとする態度も見られる。しかし、これまでの学習指導や諸学力検査において、読み取った内容を、根拠を示しながら筋道立てて述べる力があるとは言い難い。そこで、本単元での学習を通して、叙述を根拠として、登場人物の考え方を話し合うことで自分の考えの根拠を明確にしていくと考えた。さらに感想を交流することを前提とすることで、自分の考えを具体的に筋道立てて述べることにつながり、自分の考えを深める効果があると考えられる。

指導にあたっては、作品の内容を的確に捉えさせるために、課題をもって文章を読ませ、描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えさせる。そのために、今回はパタフライ・マップを用いて授業を展開する。パタフライ・マップは、文学的な文章を解釈する際に、自分の考え、根拠となる叙述、及びその二つを結び付ける理由を明確にさせ、他者との話し合いを通して、論理力を育てていくために効果的なワークシートである。パタフライ・マップによって、生徒の思考を可視化し、生徒が文章を解釈する過程を捉え、判断基準をもとにして生徒の学習状況に応じた発問をし、考えを深めさせる。そこで、まずは初発の感想をもとにして、作品の内容を読み深めるための学習課題を生徒自らに設定させる。次にその学習課題を多角的な視点から解決するために、賛成と反対の立場が生じるテーマを設定し、パタフライ・マップを用いて根拠を明確にしながら自分の考えをもたせ、それを他者と討論させることで作品の内容の理解を深めさせる。そして、その学習を通して読み取ったメロスの考え方に対して、生徒が自らの知識や体験と関連付けて自分の考えをもち、それを文章にまとめ、他者と交流させることで、主体的に考え表現する生徒の育成を図りたい。

過程	活動のねらい	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習目標と学習計画を確認させ、既習の知識・技能を自覚させる。</li> <li>知識・技能を活用させながら、ムロスの考え方について考えさせる。</li> <li>次時の学習課題設定に向けて材料を出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 単元の学習目標と学習計画を確認する。</li> <li>2 全文を読む。</li> <li>3 初発の感想を書く。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む際の既習の知識・技能を振り返らせる。</li> <li>ムロスの考え方が読み取れる部分に線を引きながら本文を読ませる。</li> <li>ムロスの考え方についての感想・疑問を書かせる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の主題に関わる部分に目を向けさせ、解釈への意欲を高めさせる。</li> <li>ムロスの心情や考えの登場人物の言動や出来事などを捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 内容を深く理解するための学習課題を考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムロスの心情に関する学習課題を設定させる。</li> <li>個人、グループ、全体の順で学習課題を練り上げさせる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムロスの心情や考えの登場人物の言動や出来事などを捉えさせる。</li> <li>ムロスの心情や考えの变化が読み取れる部分に線を引かせる。</li> <li>ムロスの心情や考えに影響を及ぼした登場人物や出来事などを、心情曲線の中で図画させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 ムロスの心情や考えの变化を心情曲線として書いてまとめる。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人、グループ、全体の順でテーマに対する考えを練り上げさせる。</li> <li>ペアに対する考えを練り上げて、根拠を明確にして自分の考えを述べさせる。</li> <li>自力解決の場面で、生徒の学習状況に応じた発問をすることによって読みを深めさせる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムロスの考え方について、自らの知識や体験と結びつけながら自分の考えをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 学習課題に沿ったテーマについて、賛成と反対の立場に分かれて討論を深める。</li> <li>7 ムロスの考え方についての感想を交流する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を想起させ、作品の中で特に注目してほしい叙述や場面を取り上げさせながら、感想を交流させる。</li> </ul>

4 単元の指導計画 (全5時間)

3 単元の目標

- (1) 目的をもって物語を意欲的に読み、登場人物の考え方についての感想を交流し、自分の考えを深めようとしている。
- (2) 登場人物の言動の意味を考えながら、内容を理解することができる。
- (3) 登場人物の考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。
- (4) 抽象的な概念を表す語句について理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
- (C 1) (関心・意欲・態度)
- (C 1) (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 1 (1))

5 単元における評価規準

言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の言動の意味を考えて物語の内</li> <li>容を理解し、自分の感想をもっている。</li> <li>・ 物語に表れているもの見方や考え方に</li> <li>ついて、自分の知識や体験と関連付けて感</li> <li>想をまとめ、交流して考えを深めている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的をもって物語を意</li> <li>欲的に読んで感想をも</li> <li>ち、交流して考えを深め</li> <li>ようとしている。</li> </ul>

6 本時の実際 (4/5)

(1) 教材 「走れメロス」 太宰治 (三省堂2年)

(2) 目標

ア 根拠を明確にして、テアについての考えをもとに、メロスの考え方を捉えることができる。

(3) 授業設計の工夫

ア 根拠を明確にして内容を理解させる指導の工夫 **研究の視点2**

本時の学習では、学習課題「メロスは何のために走っているのだろうか」を解決するためにテア「メロ

スは自分のために走っている」を設定し、それに対して賛成または反対のいずれかの立場を選択させること

で、思考の糸口とさせ、視点を定めて文章の解釈を円滑に進めさせる。また、テアを設定して賛成と反対

の二つの立場から考えることで、メロスが自分の存在価値を守るために走っていることと、真実、愛

などの人間の美徳を証明するために走っていることという両面からメロスの考え方を捉えることができる。

テアに対する自分の考えをもたせ、その根拠となる叙述を捉えさせ、さらにその二つを結びつける理由付

けを考えさせることにより、登場人物の言動の意味をよりの確に理解させることができる。

イ 生徒の学習状況に応じた指導の工夫 **研究の視点3**

以下の表のように生徒の学習状況を類型化し、それに応じた発問をすることで、生徒がテアをもとに解

釈を深めるための手がかりを与える効果がある。なお、この評価規準は、本時の自力解決の場面で生徒の解

釈の過程を見取り、手立てを加えるためのものである。

評価規準

テアに対する立場に沿って、根拠となる叙述をもとに、メロスの考え方を捉えている。

判断の対象

バクワライ・ワップの「根拠となる叙述」と「理由付け」の記述

尺度 判断基準 判断基準に基づいた指導

<p>尺度</p> <p>判断基準</p> <p>判断基準に基づいた指導</p>	<p>(賛成の立場)</p> <p>叙述を根拠として、メロスが自身の名譽や義務、正義などのために走っていることを捉えて理由付けして</p> <p>いる。</p> <p>【予想される生徒の「理由付け」の表現例】</p> <p>メロスは、約束を果たし、正義の士として死ぬとい</p> <p>う自分の名譽のために走っているから。</p> <p>(反対の立場)</p> <p>叙述を根拠として、メロスはセリヌツライウスの信</p> <p>頼に頼いることや、テアを改心させることのため</p> <p>に走っていることを捉えて理由付けしている。</p>	<p>B</p>
<p>(状況の生徒への指導)</p> <p>・ メロスが走ることをやめた場面のメロス</p> <p>の心情に注目させる。</p> <p>・ 「私」という言葉を使ってメロスの心情を</p> <p>表現している部分に注目させる。</p> <p>(状況の生徒への指導)</p> <p>・ メロスが走るきっかけを作った人物を確</p> <p>認させる。</p> <p>・ セリヌツライウスやテアをメロスに対する</p> <p>メロスの心情に注目させる。</p>	<p>(賛成の立場に対して)</p> <p>・ メロスが走ることをやめた場面のメロス</p> <p>の心情に注目させる。</p> <p>・ 「私」という言葉を使ってメロスの心情を</p> <p>表現している部分に注目させる。</p> <p>(状況の生徒への指導)</p> <p>・ メロスが走るきっかけを作った人物を確</p> <p>認させる。</p> <p>・ セリヌツライウスやテアをメロスに対する</p> <p>メロスの心情に注目させる。</p>	

<p>過程</p>	<p>主な学習活動</p>	<p>時間 形態</p>	<p>○指導上の留意点   ◎評価 ※授業設計の工夫について</p> <p>3 前時までの学習を想起し、本時の学習の内容を確認する。 2 本時の学習課題とテーマ、学習の進め方を確認する。 1 テーマについての自分の考えをもち、電子黒板で前時までの学習を振り返らせ、本時の学習の目的を確認させる。 ○ 学習課題とテーマを提示するとともに、学習の進め方を明確にする。 【学習の進め方】 1 テーマについての自分の考えをもち、グループと全体で討論をして考えを深める。 2 グループと全体で討論をして考えを深める。 3 学習課題の答えをまとめる。</p>
-----------	---------------	------------------	---

(4) 展開

<p>B</p>	<p>【生徒の「理由付け」の表現例】 ×ロスはセラリヌンライウスからの信頼に応えること や、ライオニスノ心を愛えることのために走っているから。</p>	<p>(賛成の立場) 叙述を根拠として、×ロスは自身の存在価値を守るために走っていることを捉えて理由付けしている。 【予想される生徒の「理由付け」の表現例】 守る。×ロスは、約束を守ることができるかどうかという ことよりも、約束を守ることであきらめることで、自 分が人間としての存在価値を失うことを恐れているか ら。 (反対の立場) 叙述を根拠として、×ロスは人間の美徳を証明する ために走っていることを捉えて理由付けしている。 【予想される生徒の「理由付け」の表現例】 ×ロスは、誰かのために走るといふことを超えて、 自分が走ること、信実、信頼、愛などの人間の美徳 を証明することができるかと考えているから。</p> <p>(賛成と反対の両方の立場に対して) 「もっと恐ろしく大きいもの」や、「わけの わからぬ大きな力」とはどのようなものを、 本文の叙述をもとに考えさせる。 (A状況の生徒への指導) 自分の考えを補強するために、より多くの 根拠となる叙述と理由付けを考えさせる。</p> <p>(賛成と反対の両方の立場に対して) 「もっと恐ろしく大きいもの」や、「わけの わからぬ大きな力」とはどのようなものを、 本文の叙述をもとに考えさせる。 (B状況の生徒への指導)</p>
<p>A</p>	<p>課題解決 (まとめ) の場面では、賛成と反対の両方の立場の考えを統合してまとめさせる。 【課題解決 (まとめ) の生徒の表現例】 ×ロスは、自分の存在価値を守るために、また信実、信頼、愛などの人間の美しさを証明するために走っている。</p>	<p>課題解決 (まとめ) の場面では、賛成と反対の両方の立場の考えを統合してまとめさせる。 【課題解決 (まとめ) の生徒の表現例】 ×ロスは、自分の存在価値を守るために、また信実、信頼、愛などの人間の美しさを証明するために走っている。</p>

未 終	開 展
<p>8 本時のまとめをし、次時の学習を確認する。</p>	<p>3 ヌロスが刑場に着く場面を音読し、ヌロスについて描写を想起する。</p> <p>4 テーマについての自分の立場、根拠となる部分、理由付けをバタフライ・マップに記入し、筋道立てた考えをもつ。</p> <p>5 グループで討論をし、出された意見をバタフライ・マップに記入しながら、テーマについての考えを深める。</p> <p>6 全体で討論をし、出された意見をバタフライ・マップに記入しながら学習課題を解決するために必要な要点を捉える。</p> <p>7 学習課題に対する答えを、バタフライ・マップに記入し、考えをまとめる。</p>
<p>3</p>	<p>5 音読させながら、ヌロスの心情が読み取れる部分を明確にして、ヌロスの考え方を捉えさせる。</p> <p>※ バタフライ・マップに記述させることで、根拠を明確にして、ヌロスの考え方を捉えさせる。</p> <p>※ 生徒の学習状況に応じて、個別または全体の場で発問をし、生徒の考えの補充・深化を図る。</p> <p>◎ 「自分の考え」、「根拠となる叙述」、「理由付け」に整合性のある記述ができたのか。(本時の判断基準の中の【生徒の「理由付け」の表現例】参照)</p> <p>◎ グループで賛成・反対のいずれかの立場決定を目標して討論をさせ、テーマについて多角的に考えを深めさせる。</p> <p>◎ 考えの根拠となる叙述を示しながら意見の発表をさせる。</p> <p>◎ 班員全員が同じ立場の場合は、根拠と理由の内容の差異を捉えさせ、より説得力のある考えに練り上げさせる。</p> <p>◎ 賛成と反対それぞれの立場の意見の要点を、発問によって捉えさせ、考えの深化を図る。</p> <p>◎ 討論の内容をまとめた板書をふまえて、賛成と反対の両方の意見を統合した形でまとめさせる。</p> <p>◎ 数名の生徒に、まとめた答えを発表させる。</p> <p>◎ ヌロスの考え方を捉えることができたか。(本時の評価基準の【課題解決 (まとめ) の生徒の表現例】参照)</p>
<p>○ 本時のまとめを板書し、ヌロスの考え方を確認させる。</p> <p>○ 次時はヌロスの考え方に対する感想を交流することを伝える。</p>	<p>5</p> <p>10</p> <p>10</p> <p>6</p> <p>↑</p> <p>10</p> <p>10</p> <p>6</p> <p>3</p>